

平成22年9月5日

衆議院議員  
近藤 和也 殿

七尾市議会会派 市民クラブ  
代 表 佐藤 喜典  
山添 和良  
山崎 智之

## 七尾港大田多目的国際ターミナル整備事業の早期完成を求める要望

七尾港は古くから天然の良港として栄え、昭和2年に第2種重要港湾、昭和26年に重要港湾に指定されて以来、港湾法が定める国際海上輸送網拠点としてその役割を果たしてきました。

また、市民の憩いの場として平成3年に七尾フィッシャーマンズワーフ・能登食祭市場が、平成13年には七尾マリンパークが整備されるなど約4万平方メートルの緑地公園を有し、「七尾みなと祭り」等の地域祭事が開催される市民生活と密接な港でもあります。

平成3年に七尾市の主要産業である木材加工産業の発展と、物流拠点としての七尾港強化を図るため大田多目的国際ターミナルの整備事業が着手され、平成19年に水深10メートルで暫定供用が開始されました。

しかしながら、工事予定海域の地盤が軟弱であったことから当初の平成12年供用開始が大幅に遅れており、港湾計画のみならず、港湾関連の企業など市民生活への影響も年々大きくなってきております。

整備事業の完成により、大型船舶が接岸できるとともに滞船・横待ちが解消されることで輸送コストの削減につながります。

全国的に景気状況が悪化する中で、停滞する市内経済の活性化に効果がある整備事業の完成に一刻の猶予もありません。

つきましては、七尾港大田多目的国際ターミナル整備事業の早期完成を図るべく、来年度以降の国関連予算の増額を強く要望致します。